

主 催  
公益財団法人 日本ビフィズス菌センター

# 第20回 腸内細菌学会

## 発表演題募集・プログラム

メインテーマ



# 腸内細菌と健康保持

—先人の知恵と最新の研究に学ぶ—



開催日 平成28年6月9日(木)・10日(金)

会 場 東京大学 伊藤国際学術研究センター  
東京都文京区本郷 7-3-1

大会長 平田 晴久 (わかもと製薬株式会社)

事前参加費 会員 6,000 円 一般 8,000 円 学生 1,500 円  
当日参加費 会員 8,000 円 一般 10,000 円 学生 2,000 円  
(予稿集会員・学生無料配布、当日別売 2,000 円)

腸内細菌学会ホームページ <http://bifidus-fund.jp/>

# 一般演題 A・B 申込要領

平成28年1月29日(金)まで

本年度は、口頭発表時間の異なる **一般演題 A** と **一般演題 B** の2種類の募集となります。

常在・病態菌叢およびその生態・分類・意義・腸管免疫・食品微生物・プロバイオティクス・プレバイオティクスなどに関する研究の発表を下記の要項に従ってお申し込みください（メインテーマと関連がなくても結構です）。

本大会の一般演題は、大会1日目午前中のセッションでの発表（10分程度の口頭発表〔質疑応答含む〕）【一般演題 A】と、大会2日目の午前中のセッションでの発表（15分程度の口頭発表〔質疑応答含む〕）の【一般演題 B】の2つの形式といたします。この内「一般演題 A」については若手研究者による発表や、シーズあるいは萌芽的な研究の発表を歓迎いたします。なお「一般演題 A」での発表の中から本センター選考委員によって優秀な発表と評価された発表者に対して「最優秀発表賞」（表彰状および副賞）が贈られます。

（公財）日本ビフィズス菌センターは特許庁による特許第30条第1項の規程にもとづく学術団体として指定を受けています。

① 申込方法 抄録用原稿を E-Mail にてお送りください。メール本文には「一般演題 A での発表希望」なのか「一般演題 B での発表希望」なのかを必ず明記してください。

## ② 作成要領

❗ 要旨および発表スライドには、会社名、製品名の使用は避け（自社製品は除く）、成分名等にて記載ください。

- 【一般演題 A】
- 平成 28 年 6 月 9 日現在で 40 歳未満の方を対象とします。
  - 抄録用原稿は MS-Word もしくはテキストで作成してください。
  - 用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者（○をつける）・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
  - 本文の長さは和文 1,000 文字または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
  - 締切：平成 28 年 1 月 29 日（金）必着にて事務局までお送りください。

タイトル  
英文 Title

○腸内太郎<sup>1</sup>、腸内花子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>腸内大学研究所、<sup>2</sup>株式会社 腸内細菌

【目的】…

【方法】…

【結果】…

【考察】…

- 【一般演題 B】 ・抄録用原稿は MS-Word もしくはテキストで作成してください。
- ・用紙の大きさは A4 1 枚とし、上部に演題名・英文タイトル・演者 (○をつける)・共同研究者の氏名および所属を明記してください。
  - ・本文の長さは和文 1,000 文字または英文 550 ワード内とし、「目的、方法、結果、考察」の順で記入してください。
  - ・締切：平成 28 年 1 月 29 日 (金) 必着 にて下記事務局までお送りください。

③ 発表時間 【一般演題 A】 6 月 9 日 (木)

大会第 1 日目午前中のセッションでの発表 (10 分程度の口頭発表 [質疑応答含む])  
※同日に行われる懇親会にて、「一般演題 A」の発表の中から最優秀発表賞の表彰を行います。

【一般演題 B】 6 月 10 日 (金)

大会第 2 日目午前中のセッションでの発表 (15 分程度の口頭発表 [質疑応答含む]) となります。

※発表時間は変更になる可能性がございますのでご了承ください。

④ 申込先および事務連絡先

公益財団法人 日本ビフィズス菌センター事務局  
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-12  
TEL 03-5319-2669 FAX 03-5978-4068  
E-Mail アドレス jbf@ipecc-pub.co.jp  
ホームページ <http://bifidus-fund.jp/>

⑤ その他 ご発表方法や時間などは採択後に発表者にご連絡します。

なお、演題の採択は学術委員会の審査を経て、大会長が判断いたしますのでご了承ください。

## 投稿のお願い

本学会でのご発表の内容を和文誌『腸内細菌学雑誌』または日本ビフィズス菌センター・日本乳酸菌学会・日本食品免疫学会の合同欧文誌『Bioscience of Microbiota, Food and Health』へご投稿ください。原稿の種類は、原著・総説・ノート何れでも構いません。



# 学会スケジュール (予定)

6月9日 (木)

第1日

開会の挨拶 大会長 平田 晴久 (わかもと製薬株式会社) 9:30~9:35

一般演題 A 発表 9:35~12:15

昼食休憩 12:15~13:15

腸内細菌学会20周年記念シンポジウム 13:15~14:15

『腸内細菌学会の20年を顧みて』

- ① 上野川 修一 (東京大学名誉教授、日本ビフィズス菌センター前理事長)  
腸内細菌学—その未来への期待
- ② 川島 拓司 (日本ビフィズス菌センター前総務主幹)  
財団設立の背景とその経緯
- ③ 田中 隆一郎 ((株) ヤクルト本社中央研究所 元所長)  
「腸内細菌学」のあけぼの：腸内細菌学会の20年

海外特別講演 14:15~15:05

Satchidananda Panda (Salk Institute for Biological Studies)

Interactions among diet, eating pattern, and gut microbiome contribute to host metabolism

日本ビフィズス菌センター研究奨励賞授賞式 15:15~15:25

受賞講演 15:25~16:05

シンポジウム1 『糞便移植の可能性を探る』 16:15~17:45

- ① Els van Nood (Harbor Hospital Rotterdam)  
The current status and future of Fecal Microbiota Transplantation
- ② 金井 隆典 (慶應義塾大学医学部内科学)  
臓器間ネットワークの中心に存在する腸内細菌の役割
- ③ 石川 大 (順天堂大学消化器内科)  
潰瘍性大腸炎に対する抗菌剤併用便移植療法の確立を目指して

懇親会 18:10~20:00

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター 多目的ホール

皆様奮ってご参加ください。

**6月10日(金)**

**第2日**

一般演題 B 発表

9:30~12:40

昼食休憩 12:40~13:40

---

特別講演

13:40~14:30

須藤 信行 (九州大学大学院医学研究院)

腸内細菌によるストレス応答・行動特性の制御

---

シンポジウム 2 『腸内細菌と健康保持—最新の研究—』

14:40~17:20

① 中路 重之 (弘前大学大学院医学研究科)

岩木健康増進プロジェクトから得られた腸内細菌叢の実態と意義

② 谷口 奈央 (福岡歯科大学口腔保健学講座)

乳酸菌を利用した口腔の健康管理

③ 小田巻 俊孝 (森永乳業(株)基礎研究所)

母乳による腸内菌叢制御機構

~各ビフィズス菌種の由来と母乳に対する親和性の違い~

④ 三宅 幸子 (順天堂大学医学部免疫学)

腸管免疫と自己免疫

⑤ 辻 典子 (国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門)

腸内微生物の核酸による抗炎症メカニズム

⑥ 松本 敏 ((株)ヤクルト本社中央研究所基盤研究所)

腸内細菌と大腸発がん

---

閉会の辞

17:20~17:30

# 交通アクセス・マップ

東京大学 伊藤国際学術研究センター

## 最寄り駅からの交通機関

### 【電車】

東京メトロ 丸の内線	本郷三丁目駅	徒歩 8分
都営地下鉄 大江戸線	本郷三丁目駅	徒歩 6分
東京メトロ 南北線	東大前駅	徒歩 15分

### 【都バス】

御茶ノ水駅 (JR 中央線、東京メトロ丸の内線)	[茶 51] 駒込駅南口行	→ 東大赤門前 下車
	[東 43] 荒川土手操車所前行	→ 東大赤門前 下車
	[学 07] 東大構内行	→ 東大病院前 下車
御徒町駅 (JR 山手線等、京浜東北線)	[都 02] 大塚駅前	→ 本郷三丁目駅 下車
	[上 69] 小滝橋車庫前行	→ 本郷三丁目駅 下車
上野駅 (JR 山手線等)	[学 01] 東大構内行	→ 東大病院前 下車

